

営業の概況

■経済情勢

当中間期におけるわが国経済は緩やかに拡大を続けました。公共投資は引き続き減少基調にあるものの、海外経済の拡大を背景に輸出が増加傾向を維持する一方、設備投資は、好調が続く企業収益を反映して、大企業・中堅中小企業ともに高水準を維持しております。また個人消費は、天候などに左右されながらも、雇用環境の好転、所得の緩やかな増加が続き、底堅く推移しております。住宅投資は、6月の改正建築基準法施行の影響を大きく受け、着工件数が足元では大幅に減少しています。以上のような内外需要の環境の中、輸送機械及びハイテク関連業種を中心に生産は増加基調を続けました。

■当行の業績

当行は「安心、先進、そして前進」をキーワードに、地域起こしとしてのニュービジネス総合応援制度、セキュリティ重視のICカードの発行等、新商品の開発、店舗網の拡大などを進め、地域との共生を目指しております。ニュービジネス総合応援制度につきましては、地元大学との産学連携の拡大を進めているほか、「ニュービジネス助成金」、「コンソーシアム研究開発助成金」の2つの助成金制度への応募企業は累計700先を超え、また、「ビジネス交流会」や「ビジネスマッチングフェア」などビジネスマッチング活動も積極的に行ってまいりました。また、手のひら静脈、指静脈両方の生体認証方式に対応した交通乗車機能付きICキャッシュカード「スタシアサイカ」の募集を開始いたしました。さらにお取引内容に応じたポイントを毎月発行し、たったポイントで各種特典と交換できるマイルーজ型「<池田>ポイントサービス」の取扱いを開始いたしました。店舗ネットワークの拡充も積極的に進め、堺筋支店の開設を行いました。以上の結果、株主の皆さま及びお取引先の皆さまのご支援のもと、次のような業績をおさめることができました。

預金 個人預金を中心に年間999億円増加し、総預金の中間期末残高は、2兆2,064億円となりました。

貸出金 事業性貸出が好調に推移し、総貸出金の中間期末残高は年間657億円増加して、1兆5,225億円となりました。

有価証券 中間期末残高は年間371億円増加して、8,994億円となりました。

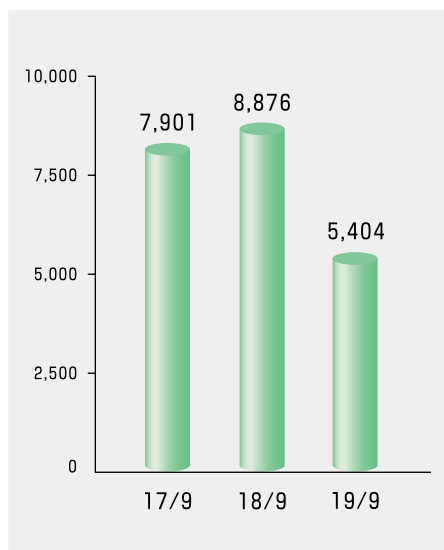
損益 資産・負債の効率的な運用と調達、ならびに役務収益の増強等に努めた結果、中間純利益は47億円を計上しました。

配当 期初の計画どおり、期末配当を15円増配して、普通配当65円を予定しております。

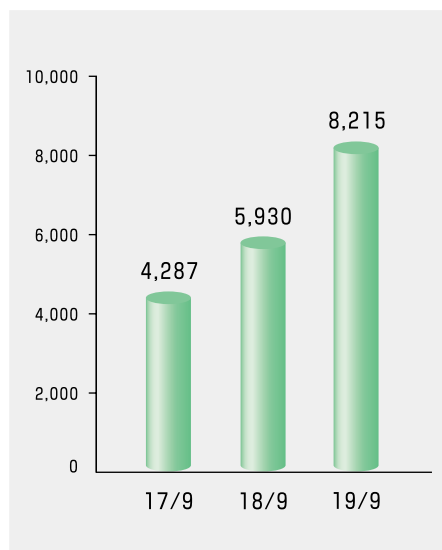
■今後の課題

当行は地域密着型金融を実践し、地域との共生を図りながら、地域社会の発展に貢献することを目指しております。お客さまの信頼と期待にお応えしていくためにも、今後とも経営の健全性と独自性を堅持し、リスク管理の強化や業務の再構築、経費削減等一層の合理化・効率化等を通じ、適正収益の確保に取り組んでまいります。次の時代を展望し、梅田営業本部の機能発揮、戦略的な店舗展開、効率的な営業体制の構築、多様なチャネルの充実等、より一層お客さまの利便性向上と営業力強化に努めるとともに、“地域起こし”を念頭に、ベンチャー企業やニュービジネスの育成にも注力してまいります。今後とも地域の皆さまのお役に立てますよう役職員一同総力をあげて課題に取り組んでいく所存です。何卒、引き続き格別のご愛顧とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

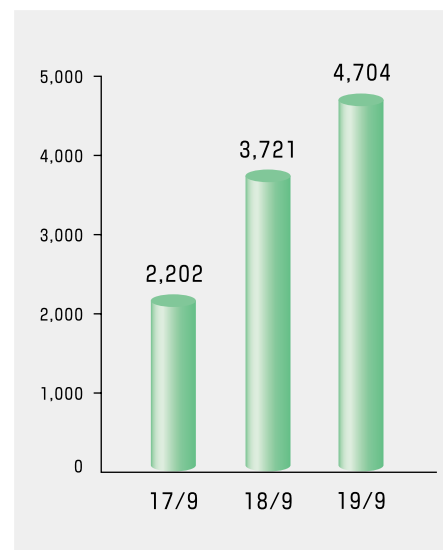
コア業務純益 (単位:百万円)



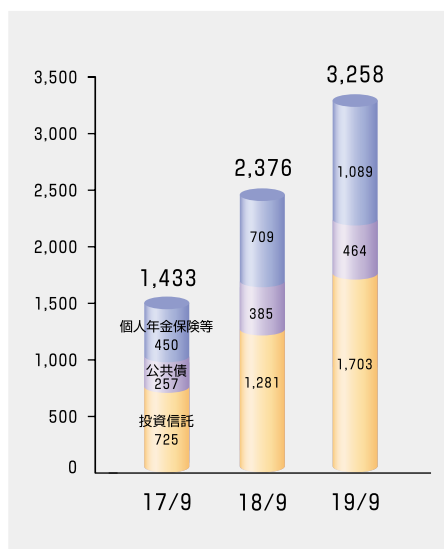
経常利益 (単位:百万円)



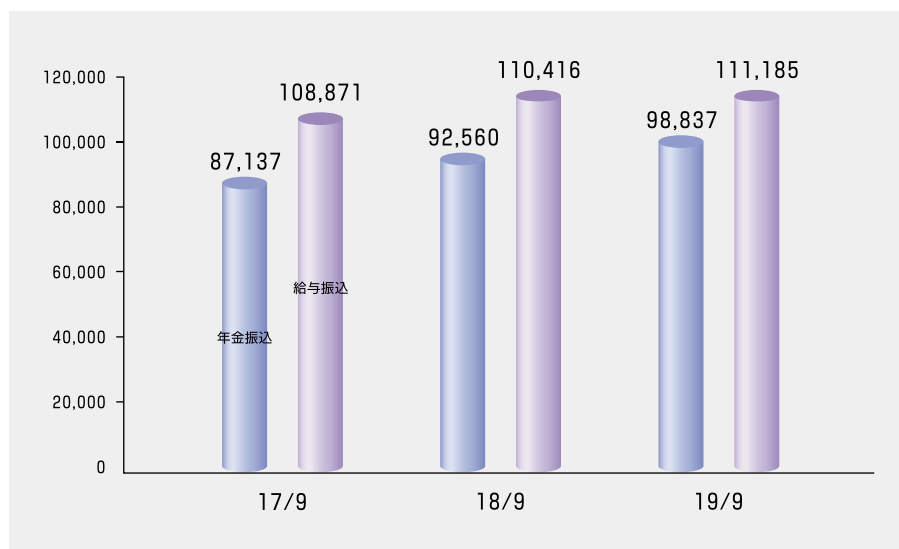
中間純利益 (単位:百万円)



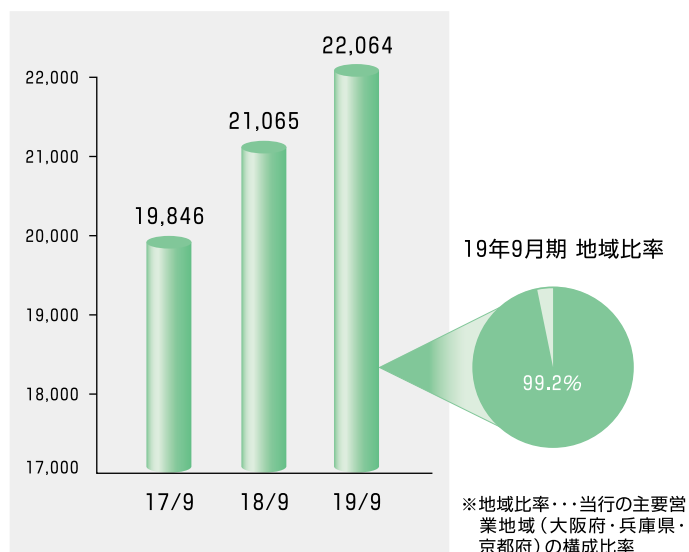
預かり資産 (単位:億円)



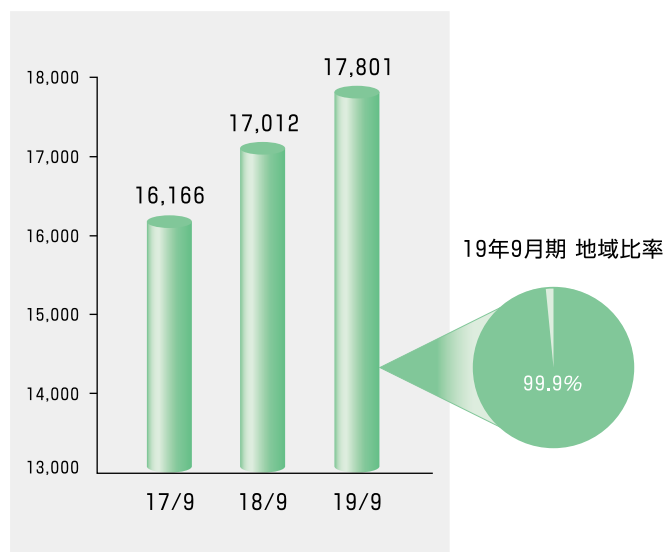
年金振込・給与振込 (単位:件)



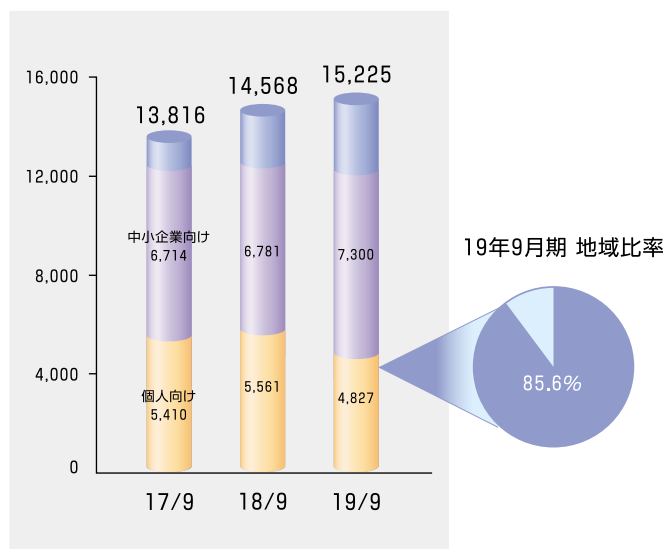
預金残高 (単位:億円)



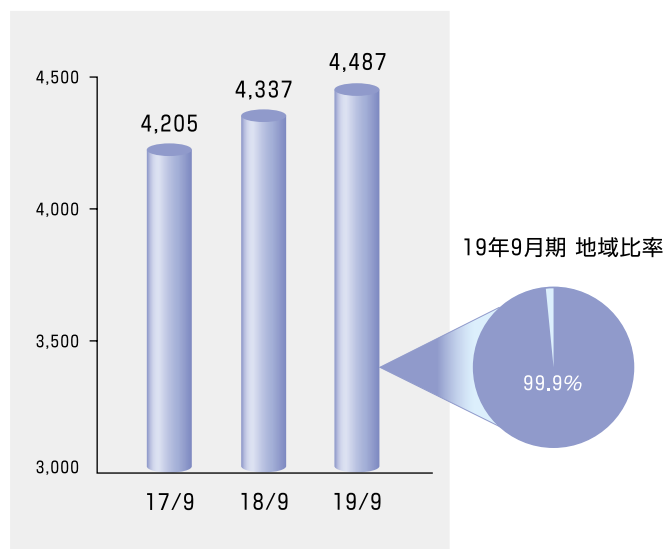
個人預金 (単位:億円)



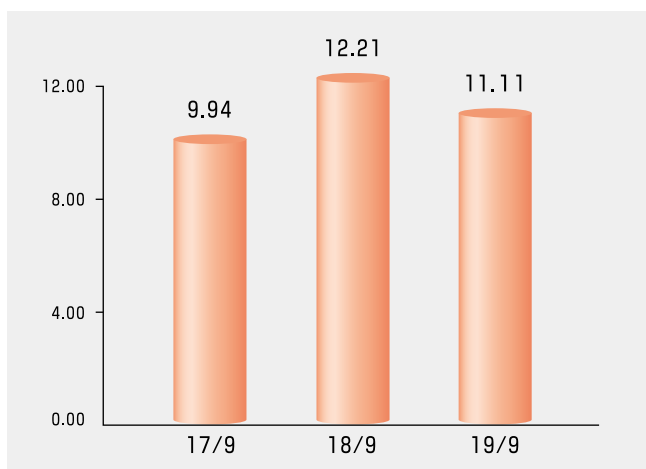
貸出金残高 (単位:億円)



住宅ローン (単位:億円)



自己資本比率(国内基準・単体) (単位:%)

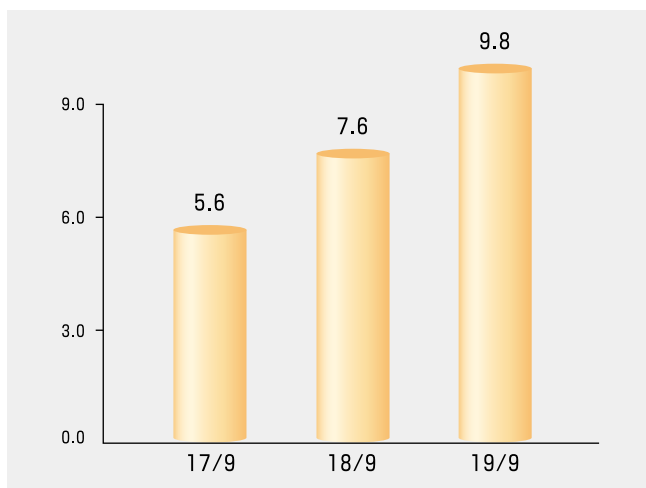


※自己資本比率の計算方式(国内基準)

$$\frac{\text{基本的項目} + \text{補完的項目}}{\text{リスクアセット}} \times 100$$

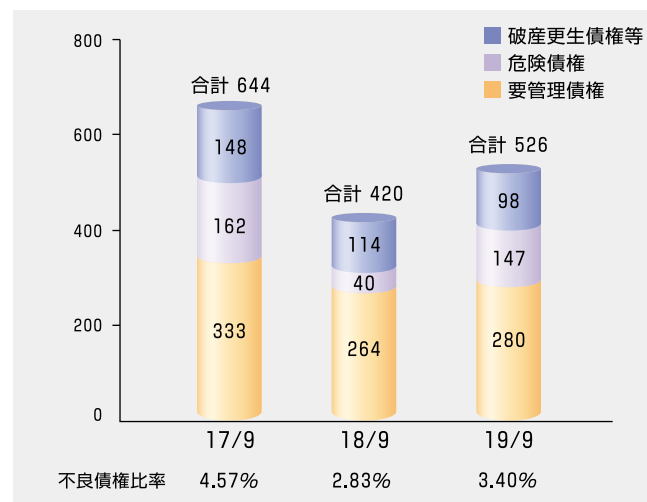
基本的項目 (資本金、剰余金等) + 補完的項目 (一般貸倒引当金、劣後ローン等)
リスクアセット (雇用リスク度合いを考慮した資産額)

ROE(純資産中間純利益率) (単位:%)



資産の健全化について (単位:億円)

金融再生法に基づく債権の開示



平成19年9月期の保全状況 (単位:億円)

	債権額	保全額	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	98	98	100.0
危険債権	147	131	89.1
要管理債権	280	209	74.8
合計	526	439	83.5
正常債権	14,919	保全額:担保等による保全額+貸倒引当金	